

北大経済学部 同窓会報

Hokkaido University
Faculty of Economics
and Business Alumni
Association

第41号



発行者
北海道大学経済学部
同窓会
発行日 2025年9月1日

TEL (011)706-4113
Email dosokai@econ.hokudai.ac.jp



ごあいさつ

北大経済学部
同窓会会長(学部長)
久保 淳司
(平成7年卒)



会員の皆様におかれましては益々盛栄のこととお慶び申し上げます。規約改正によって経済学部長が同窓会長を務めることとなり、昨年10月に、板谷淳一前会長からバトンを受け取りました。学部長による会長兼務は、歴代の会長と学部長をはじめとする関係の方々が進められた同窓会と経済学部の連携強化の1つの区切りとなります。両組織の一層の発展のために、はなはだ微力ではございますが尽力する所存です。よろしくお願いいたします。

この連携を象徴するできごととして、横山和子さん(S53経営学科卒)のご芳情を基礎にした「グローバル・チャレンジ賞(横山和子賞)」

の創設を紹介いたします。学生時代の横山さんに石垣博美先生が米国留学を奨めてくださり、米国留学を足掛かりとして国際機関で活躍できたことなどを恩送りされたいというようなお話しを同窓会が受け、所得税法上の優遇措置などに鑑みて、経済学部にご寄附をいただいたものです。留学への第1歩としてTOEFL-ibtスコアを競うコンテスト形式で運用を始め、第1回の表彰者も決まり、順調なスタートを切っています。(本学では、来年の創基150周年に向けた寄附を大々的に募集しています！)

経済学研究院では、昨年度の「会報」発行以降、Kevkhisvili Rusudan准教授、武田朝美講師、李寧仁テニュアトラック助教、大垣良太トラック助教、金仁子助教、岩田知子助教、Nurillaev Karamat Maratovich助教の7名の教員を迎えました。国籍やジェンダーの多様化の進展による教育・研究への好い刺激を期待しています。他方、この3月に、

34年にわたって在籍された田中嘉浩先生が定年によってご退職されました。

先ほどの横山和子賞の創設の他、「卒業生全員への卒業証書ホルダーの贈呈」をはじめました。生協で買うと結構なお値段のところ、経済学部同窓会オリジナルの濃緑(スクールカラー)のホルダー贈呈は卒業生からたいへん喜ばれました。また、昨年度から1学年に3、4名程度の「学年幹事」をお願いすることにしました。現時点では、特に何かをしておおうと決めてはいないのですが、20年先、30年先の同窓会活動の活発化に結びつくことを楽しみにしています。

同窓会と学部の連携によって、これまでの卒業生相互の親睦のための活動を疎かにすることなく、現役学生にも身近で役立つ同窓会活動を進めたいと考えています。会員の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。



6年ぶりに卒業・修了祝賀会を経済学部同窓会主催で開催しました

2025年3月25日に行われた北海道大学卒業式後に百年記念会館大会議室で同窓会主催の祝賀会を6年ぶりに開催いたしました。

2019年よりコロナ禍の中で祝賀会中止が決まり、その後開催を模索しておりましたがなかなか実現がかなわずようやく今年開催にこぎ着けました。

開催会場の入口では学位記の受け渡しが教務担当により並行して行われ、配布の折に、今年から何年もその配布が話題となりながらも見送られていた「学位記ホルダー」(写真)が同窓会から配布されました。北大カラーの緑のホルダーは大変好評で、それを手にして記念写真を撮る姿が各所で見られました(祝賀会の写真撮影は平成14年卒の写真家中村健太さんをお願いいたしました)。



会は13時過ぎにはまず飲み物と軽食を提供しました(今回はメニューにステーキを入れましたが大好評でした!)。その後経済学部・経済学院長兼同窓会長久保淳司先生から卒業生に向けてのお話があり、30年前にご自身もここを巣立ったことにふれ、一人一人の活躍と努力によって年月とともにこの経済学部の同窓生としての誇りをいただける未来を願っています、としめられ、改めて

乾杯しました。次に卒業論文表彰が行われ、今回は同窓会がガラス製の額(写真)を用意し、受賞者に賞状を入れ授与しました。写真でもおわかりいただけるかと思いますが、そのまま飾れるもので、受賞の記念になったのではないかと思います。その後参加者で歓談しました。出席者は100人を超え久々の祝賀会でしたが学生達にとって最後の記念となる時間となったのではないかと思います。



また、今年から学年幹事をもうけ、将来同窓生の核となってくれるよう、学部から樋口友淳(深山ゼミ)さん、二本松昌(五十嵐ゼミ)さん、会計大学院植松春菜さんの3名をお願いしました。

今回の開催にあたり(祝賀会の飲食代、額、学位記ホルダー)はすべて同窓会が提供しました。同窓生の皆様からいただいた学生支援金・会費などから供出いたしました。皆様からのご厚意が学生達に届いたことと思います。この支援を継続していく予定ですので、ぜひ卒業生の皆様、在校生の皆様同窓会により一層のご支援を賜れば幸いです。よろしくお願いたします。



北大生協再生三ヶ年計画

■基本方針1

組合員同士の「つながり」や北大生協と組合員との「つながり」を大切に、「身近」で「必要」とされる生協を目指します。

■基本方針2

『北海道大学の発展と魅力ある大学づくり』に貢献し、大学に広く深く根付いた存在になることを目指します。

■基本方針3

北大生協が大学に在り続けるために、事業構造の抜本的な見直しを行います。

●組織課題の4つの再生ポイント

- 1 組合員同士、組合員と生協のつながりを深める活動
- 2 組合員加入を推進する取り組み
- 3 大学との関係強化
- 4 全ての生協職員に再生計画の課題執行に関与してもらい、目標達成を目指し働き甲斐のある北大生協をつくります

●事業課題の5つの再生ポイント

- 1 新学期事業の再生
- 2 フードサービス事業の再生
- 3 書籍損益構造の改善
- 4 学部店損益構造の改善
- 5 施設設備整備計画の構築

北大生協は七十八周年を迎えました。北海道大学の歴史とともに歩み続けていきます。



北海道大学生協同組合 札幌市北区北8条西7丁目

北大生協ホームページ <https://www.hokkaido-univcoop.jp/hokudai/>
 北大生協理事会室 電話：011-746-6218 メール：seikyou@coop.hokudai.ac.jp

新任の挨拶

酒本 隆太 (2024年着任)

2024年3月に着任いたしました酒本隆太と申します。専門分野はファイナンスで学部、大学院ともにファイナンス関係の授業を担当しています。経歴としては6年半ほど資産運用会社やFX会社でクオンツアナリストなどの仕事をし、その後、他の国立大学で4年ほど教育、研究に携わった後に北海道大学大学院経済学研究院に着任しました。



研究は主に金融資産の価格変動のメカニズムを明らかにするといったことに取り組んでいます。最近、高い収益率を上げる投資手法があった場合に、その高い収益率の源泉は何かという問題に興味があります。高い収益率を上げる投資手法というのは、何らかのリスクを取っている、制度上の問題があり実際にはその投資を行うことができない、投資家の心理的なバイアスによって生じる、などの理由がある場合が多く見られます。そのため投資手法ごとにそれぞれの要因を、統計学や計量経済学の手法を使って明らかにするといった研究に取り組んでいます。

教育上の抱負といたしましては、自分自身のマーケットに携わってきた経験を活かしながら、教科書での理論と実際の市場で起こっている現象を結びつける授業を目指しています。例えば日々の中央銀行総裁の発言が、教科書で紹介されている企業評価モデルの式にどのように反映されているのかといったことを紹介する授業を心がけています。

北海道大学の学生の皆さんの印象としては、真面目でバランスの取れた学生が多いという印象をもっています。自分のゼミ生を中心のイメージになりますが、大学の授業の課題、ゼミ活動、インターンシップ、アルバイト、サークル活動などをバランスよくこなしている方が多いと感じています。北大生に限らない傾向だと思いますが、今の若い皆さんは失敗を恐れる傾向があると言われていました。しかし学生時代に小さな失敗を経験しておくことは、社会に出て困難な局面に出くわした時に乗り越える力になります。学生の皆さんには、小さな失敗を恐れずに充実した学生生活を送っていただきたいと思います。

齋藤 雄太 (2022年着任)

2022年4月に経済学研究院にテニュアトラック講師として着任し、2024年11月より准教授となりました。専門は公共経済学およびマクロ経済学で、これらの分野の講義を担当しています。着任から時間が経ち、当初の新鮮な気持ちは薄れてきたため、最近の研究関心である最適課税論の観点から、多くの方が関心を持つAIの発展についてお話ししようと思います。

最適課税論は、規範的に望ましい富や所得の配分とそれを実現する政策を数理的に検討する分野です。鍵となるのは、人々にとって望ましい生のあり方を示す「ウェルビーイング」と、人々が政府に対し個人情報を持つという「情報の非対称性」です。

ウェルビーイングについては、従来（経済学部でお馴染みの）効用関数のみを基準とするのが一般的でした。これは、選好や欲望の充足こそが個人の生の豊かさを決めるという規範的立場の採用を意味します。一方、幸福度サーベイなど多様な基準を想定すると、個人の自由な意思決定に基づく「愚行」を是正する家父長的な政策介入が規範的に支持される余地が生まれます。

情報の非対称性については、AIや行動経済学の発展で、「愚行」に陥りやすい特性が把握され、そうした人々への是正的な政策の可能性が広がることが予想されます。その際、社会は個人の特性という個人情報を提供することで実現される「最善」の配分か、従来通りの「次善」の配分かの選択に直面するのではないのでしょうか。

こうした内容を考えるに至ったのは、学生との会話がかきかけでした。素晴らしい学生と出会いその成長を見守る喜びを感じるとともに、微力ながらその学びの一助になればと考えております。どうぞよろしく願いいたします。



札幌の家具付き賃貸ならノースステイ

North Stay

North Stay は、札幌でウィークリー・マンスリーマンションや家具家電付の賃貸マンションを運営しております。ご旅行や出張など、お客様のあらゆるシーンにあわせて、快適な住居空間をご提供させていただきます。

〈ノースステイホームページ〉
www.north-stay.com/

札幌のマンスリーマンションならノースステイへ！北大関係者様多数ご利用いただいております。



株式会社 賃貸生活

代表取締役 佐藤 有

こちらのフリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください

【ノースステイ受付窓口】

フリーダイヤル ☎ 0120-277-271 011-206-8996

〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西9丁目1-2 サンケン札幌ビル2F
TEL 011-206-8996 / FAX 011-206-8127

□ 賃貸生活のホームページ
www.on-1.net

ゼミ紹介 ▶ 岡田ゼミ

ゼミの活動

2001年の着任時にゼミをスタートして、現在の3年生が23期生です。ゼミの卒業生は100名を超え、着任当初に数えた、定年までに送り出す卒業生の数に近づいてきました。少し前まで学生だった自分が教員となり、学生から「先生」と呼ばれることに戸惑う期間は、思った以上に長かったような気がします。加えて、「学部初の女性教員」と言われるプレッシャーもありました。そんな頼りない私を支え、鍛えてくれたのは、他ならぬゼミ生たちです。悩ませ、喜ばせ、励ましてくれたゼミ生たちとの思い出は、今でも鮮明に蘇ってきます。なかでも強く印象に残っているのは、1・2期生が開いてくれたサプライズ誕生会で、こみあげてくる涙を必死に堪えたあの日から20年以上が過ぎました。卒業後も、結婚や出産、転職など、折に触れて連絡をくれたり、機会を見つけて一緒にお酒を飲んでくれるゼミ生たちは、私のかけがえのない財産です。すべての卒業生にとっても、学生生活最後の時間をともに過ごしたゼミの

仲間たちとの思い出が、大切なものであってほしいと心から願っています。この同窓会報を読んでその頃のことを思い出したら、ぜひ、ゼミの先生に連絡してあげてください！きっと喜んでいただけるはずです。



ゼミ生と(2025.1)

卒業生からのメッセージ

生涯の恩師との出会い

佐藤友助さん(平成16年卒 エイジス北海道株式会社代表取締役社長)



私は、現在エイジス北海道株式会社という小売業を中心に各種作業を請負う会社を経営しております。岡田ゼミの一期生です。岡田先生との出会いは、ゼミ見学の時に何気なく訪問したことがきっかけです。決め手は岡田先生が醸し出す厳しさとそのゼミなら多くのことを学ぶことができるという直感でした。その直感は正しく、経営学の様々な知識も然ることながら、礼儀、マナー、作法といった

社会人として必要なことを岡田先生から教えてもらいました。今になって振り返ると当時は岡田先生もゼミ生を持って間もない頃で、手探り状態だったと思います。そんな岡田先生から感じていたことは、いつも本気でゼミ生と向き合っていたということです。ゼミの中での討議についても、先生とゼミ生と言う立場を超えて、徹底的に意見をぶつけ合っていましたし、定期的に行われる夜のゼミ(という名の飲み会)では、ご自身の人生経験を含めてたくさんお話してくださいました。岡田先生から教わったことは、私の経営者として、そして人としての在り方の土台になっています。卒業から20年以上経った今でも先生とは定期的に連絡取り合っており、数年に一回行われる岡田ゼミ大同窓会を毎回楽しみにしています。そんな生涯の恩師との出会いは私の人生の財産であり、宝です。



2018年12月30日岡田ゼミ大同窓会

岡田ゼミで過ごしたかけがえのない時間

舟生沙織さん(学部平成18年卒 修士平成20年修了 JSOLエンタープライズ&ソーシャルビジネス統括本部E&S事業推進部企画・HR課長)



私は学部と修士課程の計4年間、岡田教授にご指導いただきました。学部時代のゼミでは、個性豊かな先輩・同期・後輩の皆様とともに毎回活発な議論を交わしていました。当時の様子は今でも鮮明に思い出され、まるでつい最近のことのように感じます。刺激に満ちた環境に身を置くことで、知的好奇心が高まると同時に自身の成長にも繋がりました。大学院で研究に取り組んだ際には、壁にぶつかり悩むこともありましたが、どんな相談にも真摯に耳を傾けてくださり、ご指導いただいた岡田教授の存在に何度も救われました。ゼミの経験一つひとつが糧となっており、多くを学べたことは本当に貴重な時間だったと心から思います。

卒業後も岡田教授とお会いする機会に何度も恵まれ、学生時代と変わらず楽しい時間を共有できることは大きな喜びです。このほか、岡田ゼミで培った思考力や物事に取り組む姿勢は社会に出た今も仕事の中で生きており、私にとってかけがえのない財産となっています。改めて、岡田教授をはじめゼミでお世話になった皆様には感謝を申し上げるとともに、皆様とまたお会いできる日が来ることを楽しみにしています。

卒業生からのメッセージ

答えなき議論、終わりなき学び

大塚裕輝さん(平成24年卒 北海道ガス株式会社)

数多あるゼミの中で岡田ゼミを選んだことは、仮に自伝を書くようなことがあれば、誇りを持って記載する事項の1つになるでしょう。当時はその厳しさ?から「四天王」と呼ばれたゼミの1つでしたが、レジュメの発表者をドラえもんのおもちゃのくじで決めて一喜一憂するくらいには楽しんでいただいていたように思います。テキストのタイトルの意味や、図の矢印の太さ1つで延々と激論を交わしたこともありました。社会に出ると、一定期間での「結論」が求められますが、ある意味で必ずしも答えを求めず、本気で議論をできたことは人生における大きな財産です。卒業論文では昼夜を問わないご指導のおかげで、学部長賞という身に余る光栄な賞をいただき、十数年に及ぶ学生生活最後の素敵な1ピースとなりました。

また、縁とは不思議なもので、就職先の社外取締役役に就任されるというサプライズだけでなく、私自身が秘書・取締役会事務局として、業務で常に連絡を取り合うことになり、【指導教員⇄学生】が【取締役⇄秘書】の関係になるといって、おそらく日本でもあまり例を見ない経験も、自伝に記したいエピソードです。

岡田先生のお仕事に対する姿勢や、出会った方との縁を大切にされる姿に、卒業後も溢れんばかりの学びをいただいています。これからも人生における師として引き続きよろしくお願ひいたします。



最後のゼミで撮影した、9・10・11期生の集合写真。(最前列中央が私)

ゼミで学んだなぜ?と仕事

宮越章矢さん(令和3年卒 村田製作所)

卒業後、電子部品メーカーの営業として働いて5年目になります。今回岡田ゼミを思い出す機会を頂き、数年前ですが懐かしい気持ちになり大変有難く思います。

大学2年時までぶー太郎だった私にとって岡田ゼミは大変実のある経験でした。

ゼミで取り扱う経営学については勿論ですが、それ以上に「なぜ?」の習慣化が最も価値ある学びでした。ゼミの度に岡田先生が口にしていた、「なぜ?」。この問いが社会人生の基盤になるとは、課題に追われていた当時は分かりませんでした。

入社時、正解が無い問いばかりで苦労していました。思い悩む中で、上司から「何度もなぜ?なぜ?考えるんや」と言われて岡田ゼミを思い出したことを覚えています。頭を使って自分で考える事が苦手だった私ですが、なぜ?なぜ?を考えながら準備して挑んだゼミでは何かしらアウトプット出していたなど。

その後は社内関係者、上司、お客様の意見を「なぜ?」を起点に深く理解する事に努め、自分の頭を使って考え、解決策を導き出せる様になっている事を実感しており、仕事がとても楽しいです。今後は岡田ゼミで教わった「なぜ?」を後輩育成にもドシドシ使っていこうかなんて思っています。岡田ゼミには永遠に大感謝です!



大学生活=岡田ゼミ

中島麻稀さん(令和7年卒 NTTデータ)

2023年からの2年間、岡田先生にご指導いただきました。ゼミ見学の際に、岡田先生のもとで学び、卒業したいと強く思い、このゼミに入りました。活発な議論が展開される中で、先生の経験に基づく意見は、私にはない視点からとても勉強になりました。また、休憩の時間には、授業に関係ない世間話をたくさんお話していたのをよく覚えています。4年生の卒業論文に関しては、熱心に指導いただき、時間を問わず、相談に乗ってくださいました。卒業論文は、「1人でやるより、同期で協力して完成させるほうがよい」ということも常々おっしゃっており、同期同士の仲もより深まりました。また、「ゼミ生を社会人として恥ずかしくない人」として卒業してほしいということを考えてくださり、勉学以外にも言葉遣いなど様々な面で指導していただき、とても愛のある先生だと思っています。岡田ゼミで過ごした時間はとても濃い時間であり、勉学だけではなく社会人としての振舞い方も身に付けることができたと感じています。

私にとっての大学生活の一番の思い出は岡田ゼミです。岡田先生、無理はせずお体をお大事にしてください。また会える日を楽しみにしております。



現役ゼミ生から

4年 小野桃和さん



岡田ゼミは、3年生6人、4年生6人と院生2人が所属しています。普段のゼミでは、テキストの輪読やケースディスカッションを行っています。岡田ゼミの特徴として、報告者と司会者を毎回じゃんけん決めて決めることにあります。ゼミの当日に報告者が決まるので、予習をしっかり行うことに繋がり、議論も活発になり、進行もゼミ生が行うので、ゼミ生同士でお互いを高め合うことができます。その他にも、ジンパやゼミ合宿を通じて、ゼミ生同士が絆を深めています。

私が岡田ゼミを志望した理由は、ゼミ見学の際に、先輩方が活発に議論し合い、真剣にゼミに取り組む様子を見て、自分もそのようなゼミで学びたいと思ったからです。3年次は、ゼミの先輩方に引っ張られながらも、真剣にゼミに取り組む、多くの学びを得ることができました。また、4年次の今は、自分たちを引っ張ってくれた先輩方のように3年生の後輩を引っ張ることができるよう日々精進しています。

あと少しの学生生活ですが、岡田ゼミでの活動をかけがえのないものにするために、日々の学生生活を大切に、卒論の製作やゼミ活動に取り組んでいきたいです。



岡田ゼミ恒例のビアパーティー

小島ゼミの思い出

特定非営利活動法人PACガーディアンズ理事
和田 亜希子 (平成4年卒)

今回、原稿依頼があり、小島ゼミのことを懐かしく思い出しました。小島先生は、温かな優しい雰囲気でした。最初に思い出されたのは、ゼミが終わった後、よく皆で湯豆腐屋さんに行ったことです。おしゃれなところではなく、お財布に優しいお店です。ゼミに入るためには2年の後期に地道？にゼミ見学をし、小島ゼミに行き着き、7名が同期となりました。晴れて小島ゼミ生となり、夕方4時頃から7時過ぎまで様々な企業の経営戦略について議論しました。なかなかついていくのは大変でしたが、ゼミ合宿ではモノポリーを楽しんだ記憶があります。

そこで学びの姿勢は身に付いたと思います。3年前、今の仕事に生かす資格取得のため、通信の専門学校に入り、学生だった頃には書いたことのないレポートを、大学生の娘に教わりながら書き、無事に資格を手にすることができました。受験時に取り寄せた卒業証明書では、当時院生でいらした平本さんが、経済学部長になっていること

を知り、ひとり感慨深く思いました。

小島先生とは、2年前、名古屋に行った折お会いしましたが、話した瞬間、学生時代にタイムスリップしたかのような感じでした。今回は是非札幌でお会いできたらと楽しみにしています。



娘とエスコンで

小島ゼミ回想

北洋銀行監査部エキスパート 杉本 充仁 (平成9年卒)

私の大学生活4年間のうち、小島ゼミで過ごした時間はほんの一部です。しかしそれはとてつもなくスリリングで色濃い、最高に充実したものでした。

30年前の春、厳しい(?)選考を突破し、私は運良く小島ゼミの一員となりました。文I系から経済学部へと転向した私にとって、毎週火曜午後には苦闘であったと同時に、楽しい知的探究の時間でもありました。大滝村での宿泊研修、年1回の企業訪問、そして卒業論文…仲間と駆け抜けた2年間は、今でも色褪せない大切な思い出です。

小島先生は、卒業後に私がふらりと研究室をお邪魔しても迷惑がらず、未熟な社会人の他愛無い話に耳を傾けて下さいました。また私の結婚式では、有難い祝辞のお言葉を頂戴しました。つくづく私は、最高の師に恵まれました。

現在私は、銀行の監査部門の一員として、日々組織の諸課題に向き合っています。そこでは、ゼミで培った経営管理論の知見と探究心が土台として生きています。今回の寄稿を機に、当時の志を今一度思い起こし、この先も探究心を忘れず進んでいこうと誓った次第です。

先生、不肖な教え子ですがこれからも宜しくお願いします。



思い出の講義室は今

小島ゼミでの思い出

NTT東日本株式会社 西川 潤・西川(木村) 万有美
(平成8年卒)

私と妻は、平成5年10月から平成8年3月まで小島ゼミに在籍し、先生にご指導いただきました。

先生のお人柄もあり小島ゼミは大人気で、メンバー選抜においては、高倍率の枠をジャンケンで勝ち取った。そうして集まった仲間は、学びのみならず、何度も飲んで遊んで、更にはキャンプやスキーにまで出かけ、交流を深めた。彼らは今でも近況を伝える合う大切な存在である。

ゼミでの議論は、拙いながらも互いの意見をぶつけ合うのが楽しかった。私たちの未熟な議論を聞きながら、先生はいつも「ほーかい、ほーかい(そうかいの意?)」と、お姿そのままに柔和な相槌で、温かく見守ってくださった。しかし、時にその優しさに甘えて私たちがぬるい意見を交わそうものなら、途端にピリッと辛口で戒め、軌道修正をしてくださった。時折見えるそんなギャップも先生の魅力だった。

勉強に熱心とはいえなかった私が、自ら学びを追究する楽しさを小島ゼミで教えてもらったと思っている。

今回機会をいただき、妻と一緒にゼミ生時代の思い出を振り返ることが出来た。折に触れ先生が、ゼミの卒業生同士で結婚したうちの1組だと私たちの話をされるのだが、その時に笑顔を見せてくださることも嬉しいことである。



小島先生の最後のゼミ生

北海道大学大学院経済学研究院准教授 深山 誠也
(平成22年学部卒、27年博士後期課程修了)



く通いました。

小島先生の定年退職後、先生との関係は途絶えると思っていました。私は大学院で小島ゼミの先輩でもある平本先生の指導を受けながら、小島先生が定年退職後に勤められた札幌学院大学の研究室に足繁く通い、研究の相談にのってもらいました。そして、小島先生がついに札幌を離れ、名古屋の椋山女子学園大学に移ることになり、小島先生との関係もここまでと思いましたが、しかし、その後もビデオ通話で研究の相談にのってもらい、そしてついに、昨年小島先生はその後勤めた東海市の星城大学を退職されました。現在、私は札幌で小島先生と今も!!共同研究をしています。こんなに長い付き合いになると18才の私は思いませんでした。ここ最近、小島ゼミ生の中で最も小島先生の顔を見ているのではないかと思います。

— 同窓生の近況 —

スペインとの関わり

中西省三 ペンネーム 桑原真夫(昭和44年卒)

先般、スペイン大使館（文化部）で、来日したスペイン人の教授と私とでスペインの詩人の講演会を行いました。私は経済学部出身ではありますが、三井銀行（現三井住友銀行）を退職後はスペインの詩人口サリア・デ・カストロの数少ない研究者の一人として東奔西走しております。もともと北大のフランス語研究会の初代会長をやっておりましたので、フランス語は不自由なく日常的に使っていたのですが、今やスペイン語文学の専門家（それもガリシア語の！）となりつつあります。

ではなぜフランス語研究会だった私が、スペイン語（ガリシア語）を流暢に操りながら講演までしているのか？

私は三井銀行に入行後20年近く海外勤務に従事しておりました。フランス語が堪能だったこともあり同期で早くにブラッセル支店（ベルギー）勤務となりました。そこでイベリア半島担当になったのですが、当時のスペインでは英語もフランス語もほとんど通じませんでした。そこで在ベルギーのスペイン大使館から講師として若手の外交官の方に毎週スペイン語のレッスンを来ていただきました。おかげでブラッセルから帰国後受けたスペイン語の行内試験では一番になりましたので、今度はマドリード支店開設のためスペインに行ってくれということになりました。

その頃ちょうどロサリア・デ・カストロ（スペインでは樋口一葉と同じくらい有名な19世紀の大詩人）の没後100周年がマスコミで盛んに報道されていました。私はスペインの多くの友人達の支援を受けながらロサリア・デ・カス



トロの詩集を翻訳するようになり、ついに今回彼女の詩集5部を全て日本語に完訳することができ、ガリシア州政府の資金援助も得て全集を発行することになりました。こうしてさまざまな出会いにより、異文化に深く溶け込んでい自分を誠に幸せに感じている今日この頃です。

しじみちゃんに集まれ

米澤・渡邊（昭和51・52年卒）

雄大な自然、おいしい食べ物、人の心のおおらかさ…これらは北海道に暮らす大きな魅力であり、「旅の目的地」としての魅力でもあります。加えて、科学革命が進行する現代社会においては、北海道には更に大きな魅力があると思います。それは自然や社会の変化に対応しつつ、3万5千年以上にわたり、この地で連綿と暮らしてきた人々のたくましく豊かな精神文化です。

2021年7月、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されました。この縄文時代の人たちの日常の世界観を、『すべてが繋がっていて、一見異なると思えるものも実は一体なんだ』と捉えることができます。現代社会においては、『一見異なると思えるもの例えば、善と悪、生と死、宗教と科学、ミクロとマクロ、自利と利他など異質な対極と思えるものを同時に一体的に受け入れる、しなやかな多様性』と置き直してみることができるだろうと思います。

論語の冒頭に、「学びて時にこれを習うまた説ばしからずや」とあります。学んだことが、ある時ふと自分に新しい白い羽が生えてくるような喜びを感じることがあるそうです。孔子は、学んで時にこれを習うという喜びを、そし

しじみちゃんに集まれ

日時：2025年10月15日（水）15時～18時

15:00～読書会 「ホモ・デウス」河出文庫上・下
（ユヴァル・ノア・ハラリ著）を読みます

16:00～18:00 懇親会 会費4,500円

場所：居酒屋しじみちゃん

札幌市北区北23条西4丁目2-37

サンブリッジビル地下

参加申し込み：090-9084-4890（昭52卒 渡邊）

s.yonezawa@jcom.home.ne.jp

（昭51卒 米澤）



て朋に共感し共鳴できる楽しみを、人間の尊厳と人間社会の秩序の根源と考えました。

我々酒井ゼミを中心にしたメンバーも、孔子のように、とはいきませんが、年に5回ほど読書会を開催しています。

経済学部同窓会の皆さん！

読書会という場を通して、共に新しい自己創造にチャレンジしてみませんか。年齢は問いません。学んで、話して、飲んで。頭も体も活性化しませんか！



《最近行われた読書会の様子》
60歳を過ぎてから 学びに時に 異なる羽 つまり翼が生えてくることもある...

トを終了することができました。

今回参加できなかった東京在住者を含め忘年会の企画も進んでおり、来年度の第三回「荒又ゼミInSapporo」開催を目指して誓いを新たにしているところです。

内田ゼミの思い出-1980年代-

宮下 徹 (昭和59年学部卒, 平成2年博士後期課程単位取得退学)

内田和男先生の学部ゼミで経済学の本の読み方を教えていただいた頃から40年余りが経ちました。しばしば当時を懐かしく思い返します。午後3時から夜9時まで初めに英語次に日本語の本を一冊ずつ輪読するスタイルで、7時、8時頃になると疲労のためしだいに文面が霞みますますわからなくなっていくます。しかしとにかく各自の分担当が終わるまで頑張ります。先生は「忍耐力を養う」ということを教育ポリシーの一つにされていて、そのメッセージは卒業後もゼミ生の胸の深奥に在り続けていると思えます。ゼミで頑張った後には皆で正門近くの居酒屋に直行するのが習わしで、さらに先生に御一緒していただいてコンパや旅行などの機会も多く持つことができました。私は学部と大学院を経て時期的には90年代初めに(バブル崩壊の頃)北大を離れ、道東にある大学でマクロ経済学などを担当してきました。ときどき来札した折には先生の研究室を訪れて、社会・経済のこと、また変わりつつある大学のことなどについてお話を伺いました。大学をめぐる状況は「あの頃」から大きく変わり、少子化、法人化、様々の評価制度導入などの影響に難儀することもしばしばです。しかし、ときに苦しいときもあるけれども楽しく学んで行こうという学生へのメッセージ自体は何がどうあれ大学が変わらず堅持すべき基本であり、その大切さを教え込んでくださった先生に感謝の念を新たにしております。



荒又ゼミ InSapporo

弘田 紀 靖 (昭和55年卒)

従来は荒又先生が上京時に開催していた【荒又ゼミ懇親会】ですが、先生がご高齢のこともあり昨年より札幌で開催するようになりました。

昨年は荒又先生ご夫妻をお招きして第一回「荒又ゼミInSapporo」と称し昭和55年卒業の穴沢眞小樽商科大学学長を筆頭として東京より9名参加の盛会となりました。

当日の二次会及び翌日のゴルフコンペを含め各人初夏の北海道を満喫し無事終了することができました。

今年度も幹事橋口和典氏(昭和57年卒)を中心として

企画を進め第二回「荒又ゼミInSapporo」の開催に至ることができました。前年度からは規模縮小と成りましたが、荒又先生ご夫妻をお招きし東京から5名参加の懇親会を実施し、前年同様ゴルフコンペの開催及び有志による虎杖浜への温泉旅行と盛会のうちにイベン



TOKYO 2020の業務経験, 北大との縁

林 裕 美 (平成17年卒)

2005年3月に経済学部を卒業し、富士通にSE職として入社し20年が経ちました。食品業界のお客様の担当SEとして10年以上携わってきましたが、2017年から4年間、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に出向し、Tokyo 2020の業務に携わった経験は、私の社会人人生の中で一番大きな経験であり、今でも糧と

なっております。

最初の2年間は、大会関係者向けに、アクセディテーションというカードを発行するためのシステム導入について、業務部門とベンダーとの仕様調整や、システムを構築、テストするための準備、テスト実施などを行っていました。2019年11月頃に、暑さ対策の理由から、マラソン・競歩の会場を東京から札幌に移転することが決まりました。東京（陸上競技）と札幌（マラソン・競歩）で担当を別々に付ける必要があり、急遽私が担当することになりました。後半2年間は、マラソン・競歩会場（札幌大通公園）のテクノロジーマネージャーとして、準備からリハーサル、競技本番と、テクノロジーの面から大会運営をサポートし、無事に終えたことにこの上ない達成感と、中々経験できないオリンピックの業務経験を、生まれ育った札幌で経験できたことに喜びを感じております。

メインストリートがマラソンコースの一部になっていたため、北大にも何度か調査でお伺いしました。中間計測ポイントの20km, 30km, 40km（歯学部あたり）では、計測機器の設置場所、ネットワークを敷設するためのケーブルルートの確保場所を、関係者と一緒に調査させていただきました。仕事のために母校に伺う機会はないと思っていたので、これも何かの縁だったのかなと思ひ、嬉しい経験でした。

大会関係者集合写真



新国立競技場のスタートラインで

抽象と具体 モデルを血肉に

木村 荘一郎 (平成24年卒)

すがすがしい風が青葉若葉を揺らす季節、恩師の肥前洋一先生が近くへご出張に来られるとのことで、同地方にいる同窓生と先生をお迎えし3人でプチゼミ同窓会を開催。約10年ぶりにお会いした先生は変わらずお元気そうで、懐かしい話や互いの近況話に華が咲きました。盛り上がった話題の一つが「抽象と具体」。具体を抽象化してモデルを引き出し、モデルを具体に当てはめ、構造と課題を理解し議論を深めていく。この抽象と具体の往復をとことん学べるのが大学であり、トレーニングに全力を注げる絶好の機会がゼミである。ゼミ見学に来た学生へ先生がくださったこのメッセージに心を打たれ、入ゼミ希望を出したことを今でも覚えています。そしてこのことを想い出したときに、長い間不思議だったことに、ふと合点がいくようになりました。

会社人になりたての頃。異動・赴任の挨拶の場で先輩達が口にされていた「出会いに感謝」。不思議でした。なぜならその挨拶の中で同時に「配属や異動、業務担当は当初思い描いていたものとは違った。」とも話されていたからです。意図しない環境変化にも拘わらず、みなさんととても前向きでした。配属希望叶わず、SNSで見る同級生の活躍と成長に焦っていた当時の私には、先輩たちの前向きさが不思議でなりませんでした。

しかし「抽象と具体」を通して見れば、なぜ先輩たちが「出会いに感謝」と言ったのか、前向きだったのか、よくわかりました。どんな仕事でもまずは現状を抽象化し、構造と課題を理解して対策を打つ。抽象化したモデルを他事例にも応用し二の轍を踏まないよう予防する。この基本所作ができればどんな仕事も面白い。想定外の環境変化も、自身のモデルの幅を広げる絶好の機会であり、広げた先に新たな好機を得る。振り返ればその出会いも学びで、いつの間にか感謝しているからだ、と。

がむしゃらに駆け抜けて気づけば早十数年。およそ三年に一度の異動で今は五つ目の職場。たくさんの機会をいただけたことに有難みを感じています。さて、今度の職場はどんなモデルを血肉にできるか。楽しみです。



肥前先生を囲んで



— 在校生からのたより —

学部生インタビュー

高橋 航星 (3年)

今年から始まった経営の山口久瑠実ゼミの山口先生とそのゼミ生の高橋航星さん(3年)にインタビューしました。

山口ゼミは初年度から希望者が多く規定の人数に絞るのに苦労したと伺いました。選考では教員と学生が多様に話せる環境を重視したとのこと。面接もたっぷり時間を取られ初年度を意欲的に迎えられたと感じました。

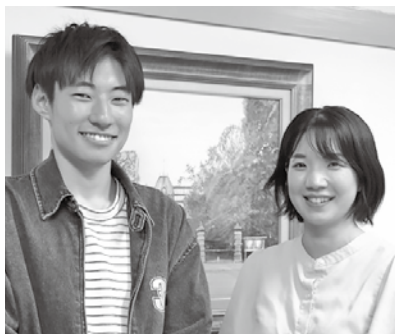
高橋さんに山口ゼミを志望した動機を伺いました。一つ目として自分は新しいことに挑戦するのが好きなので、何も定まっていないところから作り上げていくという山口ゼミに魅力を感じたこと。二つ目は何を学びたいかというところで、専門的なことを学びたいと思う気持ちと経営学一般を学びたいという気持ちがあり、山口先生との面談で将来どのようなことをしたいかということに話が及び、論理的な思考力を身につけていく重要性を感じ、このゼミで学びたいという結論がでたとのこと。

その気持ちは新たなサークルを立ち上げたという高橋さんの意欲と創造力につながっていると感じました(ボードゲームを制作するサークルを立ち上げたそうです)。

前期のゼミでは競争戦略、社会心理学についてのテキストを読み、議論を通じて論理的な思考力を育てているとのこと。高橋さんは初代ゼミ長として、先生と学生が論議しやすい雰囲気作りを心がけているそうです。前期から活発な話し合いが行われており、充実した楽しいゼミの様子がびびり!伝わってきました。

将来の希望はメーカーで様々な企画などを立ち上げていきたいと抱負を語ってくれました。元々高橋さんは札幌と帯広を家族で行き来する生活を送っていたこともあり、場所にはこだわらず、どこでも海外でも積極的に飛び出したいとのことでした。

*山口先生は北大出身で、現在中京大学にいらっしゃる谷口勇仁北大名誉教授のゼミ生でした。お二人のお話を伺ってしっかり谷口ゼミのDNAが山口ゼミに受け継がれていると感じました。ゼミ終了後の多忙な中お時間をいただき、ありがとうございました。



思っています。

学問と生活という二つの側面に分けて考えると、研究の面では私の指導教員である阿部智和先生のもと、組織行動学分野の研究を行っています。上司と部下の関係に焦点を当てた研究を行っており、人間誰もが属している組織における人々の行動やその管理の方法について学べる現在の学問領域の現実世界との繋がりの強さに魅了されています。



生活の面では、修士1年時から就職活動を積極的に行い、将来を形作るファーストキャリアを自身の思い描いていた企業で歩むことができそうです。また、学院横断型の授業や経営分野での学びを実践に落とし込むビジネス・コンテストにも積極的に参加し、専門性を社会でも活かすことができるようにさまざまな機会に積極的に挑戦しています。新たな学びを得ながら、社会において大学院を修了した専門性を持った人材として認められるように心がけています。

残り少ない北海道大学での学生生活を悔いないものにするためにも、研究と生活の両面に重点を置きながら、恵まれた素敵な仲間や先生とのつながりを大切にして、できる限り学生としての生活を謳歌したいと思います。

実務と学問のリンケージを目指して

石田 伸也 (会計大学院2年)

私は2004年に大学を卒業後、民間企業において決算業務や開示実務に携わってきました。その中で、会計知識に加え、法制度、経営判断、社会的要請など、多様な視野とバランス感覚が求められることを痛感しました。こうした経験から、会計のみならず、監査論、企業法、ファイナンスなどの関連分野を体系的に学ぶことで、会計人材としてさらに成長したいと考え、会計大学院へ進学しました。



現在は、サステナビリティ情報の開示とその社会的評価に関心を持っています。これは企業単体で解決できるものではなく、グローバルな課題ですが、情報開示を通じた企業の社会的責任や、ステークホルダーによる評価のあり方を学ぶことで、その知識を修了後の実務に活かし、将来的な社会貢献につなげたいと考えています。

私の受講している講義では、受講生による報告や受講生同士で議論を深める形式が多く、その分事前準備や期末レポートなどが大変ですが、魅力的な先生方や研究熱心な仲間との議論を通じて新たな視点に触れ、日々刺激を得ています。さらに、経済学部の岡野ゼミでTAを務め、大学教育を補助する立場からも、学びを深める貴重な機会に恵まれています。また、気分転換したい時には、図書館や中央ローンなどで自由に過ごす時間を大切に、心身ともにリフレッシュしています。

家族の支えに感謝し、残りの大学院生活をより実りあるものになりたいと思います。

北大で未来の基盤を作る

長野 優輝 (修士課程2年)

学部時代の交換留学を含む5年間の学修と修士課程での1年間を終え、本年度より修士最終年度としての生活が始まりました。学部1年生を除いて、コロナ禍でほとんど通うことができなかったキャンパスに、修士課程進学によりまた2年間通えることを嬉しく

学生支援の新たな取り組み

その1 出前講義

3年前から同窓会では学生の就職支援に向けての初めての試みとして、出前講義を始めました。コロナ禍のうちに学生支援として同窓会で何ができるかと検討した結果、物資の支援を行い大変好評をえました。その折りに学生たちにアンケートをとり、学生支援として何を希望しているのか調査しました。その結果一番多かったのが就職支援でした。何が学生にとって有効かいろいろ話あった結果、2年生向けの授業を使わせていただき、経済学部、経済学研究科の同窓生に依頼し4回の出前講義を学生たちに提供していくことになりました。昨年はその第3回目です。

第1回 中西 克彦さん(平成22年学部卒, 宇田ゼミ) 千秋庵製菓代表取締役社長

「キャリアドリフトによるキャリア形成 — 商社パーソンが老舗菓子店の社長になるまで —」



中西さんからはまずキャリアドリフトについてのご説明があり、それを基にしたご自身のキャリアの選択と変遷についてご説明がありました。さまざまな場面でのビジネスパーソンとの出会い、転職におけるご自身の判断など、多彩な経歴の背景

などを率直に語ってくださいました。宇田ゼミの初期メンバーとしての学び、またさまざまな学生団体に所属し活動したことなど、学生たちへ「遊・学・働」のバランスの実践とすすめについて最後に語られました。

第2回 栗原 貴史さん(平成30年卒, 岡部ゼミ) 弁護士, 慶應義塾大学助教

「対話力—社会人の基礎体力—」

栗原さんからはまずなぜ経済学部から弁護士に進路を定めたかをお話いただきました。専門性を身につけたいと考え、卒業後慶應義塾大学大学院のロースクールに入り猛勉強。見事司法試験に受かりいわゆる「まちべん」になりさまざまな訴訟に取り組んでいる日々のことと、同時並行でロースクールの教員も兼ねている現状を話さ



れました。就職を控えた学生には「対話力」の多様な側面を語られ、論理的な柔軟性が大切と締めくくられました。

第3回 柏原 宗一郎さん(平成26年学部卒, 28年修士修了, 肥前ゼミ) KPMG FAS(国際会計事務所) データサイエンティスト(M&A など)

「キャリアとしての経済学のビジネス・社会実装」



柏原さんからはまずご自身の職歴とその仕事内容の説明があり「データサイエンス」とは何かご自身の多様なキャリアも含めプレゼンいただき、同時に経済学の活用事例など学びを仕事にどう生かすかを熱く語られま

した。その後学生時代の就活について述べられ、就活準備は大事、それにも増してやはり学生時代にその後の「知」のベースとなる学びの大切さも語られました。採用者から見た就活のノウハウも含めさまざまな観点から提起いただきました。

第4回 大塚 裕輝さん(平成24年卒, 岡田ゼミ) 北ガス総務部秘書グループ

「元・採用担当が伝えたい就活で成功するための 学生生活」

大塚さんからは岡田ゼミでの学生時代のようにと取り組みなどの自己紹介と、「北ガス」の事業や業務・働き方などの会社紹介などを述べられました。その後採用担当だった業務を生かし学生に対して就活をどのように考えればよいのかを具体的



に、また人生の大きなウエイトを占める就職をどう自分自身が考え構築していくか。転職が当たり前になってきている中で大塚さんの思いなど様々な側面からの「就職」の捉え方について提言されました。

講義はたくさんの学生からの質問もあり、4名の講師の皆さんとの活発な交流が行われました。今年も4名の同窓生に出前講義を依頼しています。今後長く続けていきたいと考えておりますので、是非自薦、他薦問いませんので、学生たちに就職の現状などいろいろお話しただけの方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡下さい。(時期は10月から12月を予定しております。)

その2 北海道の経済を活性化させるための地域経済活性化プラン コンテスト

2024年11月14日（木）経済学部同窓会主催「北海道の経済を活性化させるための地域経済活性化プラン」プレゼンがW103講義室で開催されました。

同窓会が学生支援の一環として3年前から取り組んだ企画です。前年は13組の応募があり、年々応募グループは増えています。厳正な事前審査の結果7組がプレゼン発表に進みました。

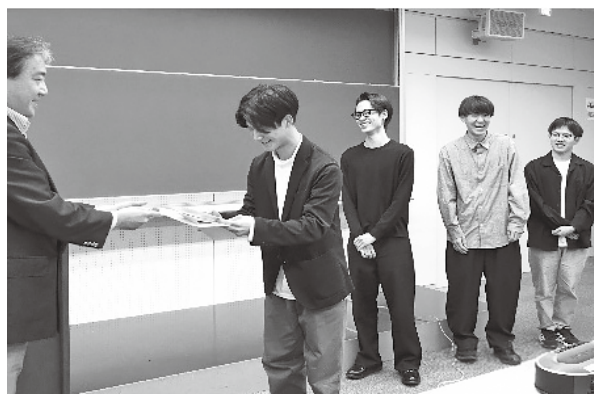
プレゼン10分、質疑応答5分による知力の戦いを5名の審査員（亀岡先生、阿部先生、相澤先生、社会人からは東京都市の滝沢さん、北海道大学の松原さん）とオーディエンスたち（Zoomからも）が見守りました。



結果は残念ながら最優秀賞賞金10万円に達したチームは出ませんでした。最優秀賞（5万円） 酒本ゼミチーム（3年4名）、優秀賞（3万円） 北の守護神goeken（3年3名、4年1名）、審査員賞（2万円） かいちゃんず（3年2名、4年2名）の3チームが受賞し賞金をGetしました！

内容は最優秀賞チームが観光とデジタルデトックス、優秀賞がノマドワーカー、審査員賞が英語公用語特区を活用したプランでした。他は水産業、ジビエ、研修事業の誘致、観光業などさまざまなアイデアが提示されました。審査員の先生たちからは受賞を逃したチーム、入賞したチームのそれぞれ評価された点、改善点など詳しく講評されました。

特にプレゼンにおける初歩的な留意点や、プランについて理論的に案を構築することを求められました。内容は前年よりレベルアップしており来年の「提案」が楽しみです。同窓会では来年以降もこの支援を続けていきますので、是非多くの学生に参加いただき、このイベントを卒業生と一緒に盛り上げていけたらと考えています。



その3 園信太郎賞について

同窓会では長年本研究院で統計学の研究と教育に取り組まれた園信太郎名誉教授による学生支援のための寄付金100万円を基として、統計検定準1級以上の合格者に「園信太郎賞」賞金5万円を授与することとしました。

初年度は2人が受賞しましたが、この賞の事が多くの学生に伝わり、統計検定を目指す人が増えました。その結果今年度5人の方が受賞されました。12月に学部4年の青木友哉さんと3年の荒井和真さんが。今年5月には博士後期課程3年の吉本正春さん、学部4年の藤原可統さん、修士課程2年の劉垂東さんが準1級の統計検定に合格し受賞。賞金5万円を授与されました。

このようにこの賞をきっかけにたくさんの学生が統計検定にトライし統計のレベルを押し上げてくれることを期待します。



その4 グローバル・チャレンジ賞 (横山和子賞)

この賞は長年国際機関・大学などで活躍された横山和子さん（昭和53年卒）から、ご自身の学生時代に海外留学を後押しして下さった先生方のアドバイスなどで今がある、との思いから経済学部生の海外留学促進のためとして経済学部にて昨年100万円を寄付されました。



この7月に初めての受賞者が誕生し、賞金5万円を受け取りました。

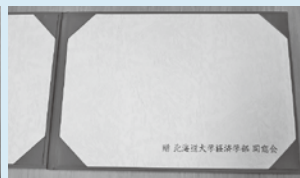
受賞者 学部4年多田野真仁さん（高井ゼミ）。多田野さん



はその語学力を活かしイギリスのエジンバラ大学に留学しました。国際機関や海外駐在員を目指したいと授賞式で語られていました。

卒業祝賀会で渡された学位記ホルダーは同窓生みなさまからいただいた会費から支払われています。

2pでも書きましたが長年配布が論議されてきましたが、高い買い物のためなかなか結論が出せませんでした。しかし今後どんどん値上がりしていくという状況もあり、ここで少し大量に購入しようと結論しました。写真でわかるように表に「北海道大学経済学部・経済学院」と金字し、内側に贈 同窓会と記名しました。非常に記念になるものとなったと学生も同窓会もうれしい心持ちでした。



また、料理も気持ちよく残さず食べてほしいと願って！「ステーキ」や「サーモン」、「サンドイッチ」等学生たちの好むものを用意し、生ノースマンなどのお菓子類なども加えました。会が終了するころにはすっかりなくなっていました。祝賀会の飲食代や卒論表彰に贈呈した額などはみなさまからいただいた協賛金（学生支援金）でまかなわれています。

何とぞ同窓生みなさま北海道大学経済学部同窓会の活動にご支援・ご協力のほどよろしくお願いたします。



第42回 北大経済学部法学部対抗ゴルフ大会

2025年7月5日、経済学部と法学部のゴルフが大好きな同窓生が、炎天下の札幌エルムカントリークラブに集結しました。

法学部の参加者7名に対し我が経済学部は16名、数でも実力でも法学部を凌駕して団体戦は大差での勝利でした。

個人戦では、優勝大岩慎治さん（平成2年卒 所ゼミ）、準優勝鉢呂建市さん（昭和56年卒 早川泰ゼミ）、3位酒井和人さん（昭和48年 早川泰ゼミ）など上位5位までを経済OBが独占しました。逆に下位5位も経済がズバリ！と並びましたが、参加者はみな励まし合い、元気に思い思いのプレーを楽しみました。

今年は成績優秀者に限らず「飛び賞」、「ブービー賞」、「猛打賞」にもスイカ計8個（いずれも6L、5L級の大玉）が当たりました。食事をとりながらその他の賞品が拍手と共に全員に手渡されました。

この「伝統の一戦」は今回で42年間続いたこととなります。両学部の同窓生でゴルフがお好きな方、初心者の方がいらっ

しゃいましたら、腕前は関係ありませんのでぜひ来年からご参加ください。現在の経済学部ゴルフ愛好会は増減を繰り返しながらも徐々に若返りとダイバーシティ（女性、大学院卒の方の参加など）が進み、多彩で元気なOB、OGの集まりとなっています。

12：15に始まったゴルフも18：00に和気藹々の表彰式を終え、参加者は来年の再会を誓って散会となりました。なお両学部同窓会からは本年も主に賞品代として助成金をいただいております。



今年も経済学部の圧勝でした！



就職状況

- ・昨年度も就職状況は変わらず好調を維持しているようです。大企業から比較的新しい企業などその進路も多彩です。今年は北電が4名と一番多くなりました。
- ・同窓会も今後よりいっそう在学生の就職支援のあり方を模索していきたいと考えます。
卒業生のみならずさまにおかれましても、さまざまな場で在学生に会われましたら、気さくに声がけし、相談にのっていただけたらと思います。北大生は東京や大阪などの学生たちに比べて少し「奥手？」なところがありますが、ぜひその持っている「力」を引き出せるよう、ご支援をお願いいたします。
- ・就職率（就職希望者が分母）は昨年より学部・修士とも微減しています。会計大学院の就職率は100%に達しています。博士も100%です。学部が96.4%、修士が75.9%でした。（進学率は学部約10%、修士10%）

学部

- 【4名】北海道電力
- 【3名】東京海上日動火災保険, 札幌市
- 【2名】北洋銀行, 北海道銀行, 三井住友銀行, 三菱UFJ銀行, JFEエンジニアリング, JFEスチール, 伊藤忠商事, アクセンチュア, 国土交通省, 札幌国税局, 北海道大学
- 【1名】SBI新生銀行, あおぞら銀行, だいこう証券ビジネス, みずほ銀行, みずほ証券, りそな銀行, 滋賀銀行, 三井住友信託銀行, 三菱UFJモルガン・スタンレー証券, 三菱UFJ信託銀行, 東海東京フィナンシャルホールディングス, 日本政策金融公庫, 北陸銀行, 三井住友海上火災保険, 全国共済農業協同組合連合会, 日本生命保険, ホクレン, ジャパン・スタッドブック・インターナショナル, ワールドコーポレーション, 鹿島建設, 住友林業, 大成建設, 日鉄エンジニアリング, Yagien Ballpark, 日本食研ホールディングス, パナソニックオートモーティブシステムズ, パナソニックハウジングソリューションズ, 三菱電機, マガジンハウス, 神鋼環境ソリューション, 住友化学, 東レ, オリンパス, ミネベアミツミ, ニコン, 富士通, パナソニック, 古野電気, スズキ, トヨタ紡織, ヤマハ発動機, 三菱重工工業, 日本精工, JERA, 電源開発, 電力広域的運営推進機関, 北海道ガス, インテージ, スターティア, ソフトブレン, DYM, NTTデータグループ, 電通, 東日本電信電話, 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス,

阪急阪神ホールディングス, 川崎汽船, 日本郵政, 飯野海運, 北海道旅客鉄道, 岡谷鋼機, イオン北海道, トライアル, ファーストリテイリング, ローソン, 良品計画, オープンハウスアーキテクト, トグルホールディングス, パーク24, ウインドワード, 住友不動産, 双日, EY新日本有限責任監査法人, fabeee, KPMG コンサルティング, あずさ監査法人, ベイカレントコンサルティング, ヴァリユーズ, 三菱UFJリサーチ&コンサルティング, ビジョン・コンサルティング, 星野リゾート, 日立ドキュメントソリューションズ, Regrit Partners, 日本能率協会マネジメントセンター, 能開センター, 社会福祉法人ゆうゆう, ADKホールディングス, PwCコンサルティング, JALスカイ, TRUNK, アイリスオーヤマ, アジアンエージェンシー, ジェイフロンティア, レバレッジズ, One Terrace, リンクアンドモチベーション, 税理士法人ユニヴィス, 日本IBM, 経済産業省, 国立国会図書館, 財務省財務局, 内閣府, 北海道運輸局, 北海道庁

修士

- 【2名】日本経済研究センター
- 【1名】マオイ蒸留所, 西島製作所, 三菱日立ホームエレベーター, western digital, DXCテクノロジー・ジャパン, ギャラクシー, マネーフォワード, 丸紅ITソリューションズ, 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス, 富士通, ニトリ, 交通銀行, 静岡銀行, 平安銀行, 华泰証券, Civil Aviation Flight University of China, temu, The Center for Economic Research and Reforms (CERR), 北海道開発局
- ***会計大学院***
- 【2名】EY新日本有限責任監査法人, あずさ監査法人
- 【1名】任天堂, 丸和運輸機関, 日本郵政, 松山たけふみ行政書士事務所, PwCコンサルティング, PwCビジネスアシュアランス, かなで監査法人, 加茂暁星学園, 北海道財務局
- ***博士***
- 【2名】北海道大学
- 【1名】駐日フィンランド大使館, TD Bank Group, 県立広島大学

恩師の異動

令和7年3月

・永年、経済学研究院（経済学研究科）・経済学部の教育や研究に尽力された先生が当大学を去られました。
准教授 田中 嘉浩→定年退職
先生のいっそうのご活躍とご健勝を心からお祈りいたします。

同窓会サポート企業

SALAT 株式会社 サラト

■本 社 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
TEL 079-284-1380

■東京支社 〒110-0016 東京都台東区台東4-18-7 シモジビル5F
TEL 03-3832-6381



<https://salat.co.jp>

ぜひ、ご参加ください

今年もホームカミングデーが開催されます。
みなさま、是非ご参加下さい。

同日に**経済学部同窓会総会**と**懇親会**を開催いたします。(総会はオンラインでも参加できます)

日時:9月27日(土) **総会** 午後4時10分から約1時間
懇親会 午後5時半から1時間半ほど

会場:**総会** 人文・社会科学総合教育研究棟 W102教室
懇親会 経済学研究院研究棟 301室
(北区北9条西7丁目 北大経済学部内、
会費 4,000円を予定)

出席希望の方は9月16日(火)までに事務局まで「氏名、卒業年、住所、メールアドレス」をメールにてご連絡ください。懇親会のキャンセルは基本受け付けられませんのでご注意ください。

事務局 **メールアドレス**
dosokai@econ.hokudai.ac.jp
tsuka@jimuhokudai.ac.jp (同報願います)
TEL 011-706-4113



150th
創立150周年記念イベント
北海道大学ホームカミングデー2025
公開講演会

やなせたかしの生涯

描かれた死と生

アンパンマンで

講演者
梯 久美子氏
(ノンフィクション作家/北海道大学文学部)

「アンパンマン」の誕生は、戦後復興期に、子どもたちに希望と勇気を与えた。その背景には、作家の深い社会意識と、時代を捉えた鋭い観察眼があった。本書は、アンパンマンの誕生から、作家の生涯までを、丁寧に描き出している。アンパンマンの誕生は、戦後復興期に、子どもたちに希望と勇気を与えた。その背景には、作家の深い社会意識と、時代を捉えた鋭い観察眼があった。本書は、アンパンマンの誕生から、作家の生涯までを、丁寧に描き出している。

日時 2025(令和7)年 9月27日(土)
14時00分～16時00分

会場 北海道大学
人文・社会科学総合教育研究棟 (W棟) 103教室
(札幌市北区北10条西9丁目)

参加費 2000円
学生にやさしい価格で参加いただけますが、懇親会に学生参加はできません。
お申し込みは「申し込み」のボタンより、お申し込み下さい。
<https://www.hokudai.ac.jp/grip/anniversary/>

お問い合わせ
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
北海道大学文学部 庶務担当
E-mail: wwwadm@econ.hokudai.ac.jp
Tel: 011-706-3002

主催：北海道大学文学部・教育学部・法学部・経済学部

事前にこちらの書籍をお読みいただけますと、講演会がより充実した内容になります。
梯 久美子著
『やなせたかしの生涯 アンパンマンとほく』
(文芸春秋、2023年9月刊)

梯久美子 (かけはしくみこ)
ノンフィクション作家。1962(昭和36)年9月15日、青森県生まれ。5歳から札幌で育つ。北海道大学文学部卒業後、東京で編集者6年。文芸春秋に、2005年のデビュー『誰も知らない 真実の闇に潜る』でデビュー。『アンパンマン』の誕生をテーマにしたノンフィクション『アンパンマンの誕生』が、NHKの連続テレビ小説『アンパンマン』の制作に大きく貢献。『アンパンマン』の誕生から、作家の生涯までを、丁寧に描き出している。アンパンマンの誕生は、戦後復興期に、子どもたちに希望と勇気を与えた。その背景には、作家の深い社会意識と、時代を捉えた鋭い観察眼があった。本書は、アンパンマンの誕生から、作家の生涯までを、丁寧に描き出している。



卒業生の
つながりを、
デジタルで
強くする。

アルムナイ・コミュニケーション・ベース

ELM TREE

Alumni Communication Base Since 2023

登録
無料
Free

人のつながりは、北大の財産です。
大学と同窓生をつなぐ
プラットフォームツールとして
ELM TREEを整備していきます。
登録にご協力ください。

大学と同窓生をつなぐプラットフォームとして、アルムナイ・コミュニケーション・ベース「エルムツリー」の運用を開始しました。「エルムツリー」は北大卒業生のデータベース「卒業生電子名簿機能」と、大学・同窓会からの情報発信「卒業生連携機能」で構成されています。

URL ▶ <https://alumni-net.dpe.hokudai.ac.jp/>



お問い合わせ先

北海道大学広報課卒業生・基金室
(卒業生・校友会エルム担当)

〒060-0809 札幌市北区北9条西6丁目 北海道大学百年記念会館内
TEL 011-706-2101 E-mail info-alumni-net@dpe.hokudai.ac.jp



名刺広告

パリアフリー本の子ども図書館
公益財団法人 ふきのとう文庫
代表理事
高倉 嗣昌
(経 昭和36年卒)
札幌市中央区北6条西12丁目3
TEL 011(222)4839

札幌監査法人
代表社員 公認会計士
高野 一夫
(経 昭和45年卒)
札幌市中央区南一条西十二丁目新永ビル
TEL 011(211)6881

弁護士
吉川 正也
(経 昭和46年卒)
札幌市中央区大通西十二丁目南大通ビル4階
TEL 011(261)6677

丸二倉庫株式会社
代表取締役社長
湯川 康史
(経 昭和47年卒)
本社
大坂市西区土佐堀2丁目2番16号
TEL 06(644)0536

遠藤公認会計士事務所
公認会計士
遠藤 昭一
(経 昭和48年卒)
札幌市東区北二十二条東十八丁目三番三号
TEL 011(783)8123

弁護士
工藤 倫
(経 昭和50年卒)
札幌市中央区北五条西十二丁目一番地
ベルックス北五ビル B館二階
TEL 011(261)5275

田中利男税理士事務所
税理士 中小企業診断士
田中 利男
(経 昭和50年卒)
札幌市中央区南3条西6丁目3-2
南3条グランビル601
TEL 011(261)2061

株式会社ターフテック
代表取締役
宮本 裕司
(経 昭和50年卒)
北広島市大曲工業団地五丁目一番地二
TEL 011(377)4011

ジャパンアクティブーションキャピタル株式会社
取締役会長
永松 昌一
(経 昭和57年卒)
札幌市中央区南一条西二丁目10-2
サンワイドビル4階
TEL 011(231)5240

北海道大学東京同窓会 会長
株式会社 トクヤマ
代表取締役社長
横田 浩
(経 昭和60年卒)
東京本部
東京都千代田区神田1-7-5 フロンティアスクエア
TEL 03-5207-2500

監査法人ライトハウス
代表社員 公認会計士
北村 好孝
(経 平成4年卒)
札幌市中央区南一条西11丁目コンチネンタルビル
TEL 011(232)7102

監査法人ハイビスカス
代表社員 公認会計士
堀 俊介
(経 平成6年卒)
札幌市北区北8条西6丁目2-20
新和ビル6階
TEL 011(826)5265

吉田大吾税理士事務所
税理士
吉田 大吾
(経 平成11年卒)
札幌市中央区南3条西12丁目320-8
札幌森ビル3-3階
TEL 011(206)4236

税理士法人北前会計
統括代表社員・CEO(公認会計士・税理士)
中村 泰道
(経 平成12年卒)
札幌市北区北7条西2-20 NCO札幌駅北口2階
TEL 011(299)2624
Email: y.nakanura@kitanae.or.jp

池田裕一公認会計士事務所
池田 裕一
(経 平成15年卒)
札幌市中央区南2条西5丁目10-2
サンワイドビル4階
TEL 011(231)5240

エイジス北海道株式会社
代表取締役社長
佐藤 友助
(経 平成16年卒)
本社
札幌市中央区南3条東3丁目18番地
マルキン本社ビル5F
TEL 011(222)3072

税理士法人高崎総合会計事務所
代表社員・公認会計士・税理士
高崎(旧姓日下)智子
(経 平成16年卒)
平成19年修士課程修了)
札幌市豊平区平岸3条5丁目4-22
平岸グランドビル新館801
TEL 011(215)5981

渡辺組ホールディングス株式会社
株式会社 渡辺組
代表取締役社長
渡辺 勇喜
(経 平成17年卒)
本社
紋別郡遠軽町南3丁目
TEL 0158(42)3171

名刺広告を募集します お申し込みは同窓会事務局まで

TEL & FAX (011)706-4113
Email dosokai@econ.hokudai.ac.jp

おかげさまで、107年。伝統の美味しさをご一緒に。

銀峰

献上銘餅

味淋焼かまぼこ

賜 東宮御所献上之栄
農林大臣賞
厚生大臣賞
名誉・栄誉大賞

創業大正七年 / 札幌・二条魚町

かねひこ

田中慎一ゼミナール所属
代表取締役社長 **中島 代博**
(平21年 修士卒)

<https://www.kanehiko.jp>



今や北海道の野鳥を代表するシマエナガ。その愛らしさは子供には絶大な人気です。そのシマエナガを「かまエナガ」と名付けてカマボコにしました。北海道産の牛乳と道産のスケトウダラにチーズを入れて仕上げました。北海道のおみやげにぜひどうぞ。一社)日本かまぼこ協会「フィッシュプロテイン認証品」302円(税込み)



かねひこ(イナガ)シマエナガ
かまエナガ



令和7年6月期収支報告書

協賛金(学生支援金)ありがとうございました

「協賛金」は在学中の学生に対する勉学や研究活動の支援・環境の整備改善・就職セミナー・学生の物資支援などにつかわれます。一般会費とは厳正に別管理とし、学部長と用途を協議して有効に活用しております。

今後とも母校後輩へのサポートをよろしくお願い致します。

この1年間にご賛同頂いた皆様は下記のとおり(敬称略、カッコ内は卒年)

3万円 西川平治 (S.36), 牟禮研吾 (S.42), 鈴木正司 (S.51), 橋場智明 (H.7)

2万円 榎本英雄 (S.47), 田中利男 (S.50)

1万円 佐野廣道 (S.32), 佐藤譲治 (S.32), 横山正之 (S.33), 村山 哲 (S.34), 小亀慶曙 (S.37), 西本紀夫 (昭38), 鈴木信雄 (S.39), 中川原慶憲 (S.41), 中谷信一 (S.41), 中西省三 (S.44), 北澤治雄 (S.44), 高久 裕 (S.44), 高野一夫 (S.45), 西岡 豊 (S.46), 湯川康史 (S.47), 大滝洋一 (S.47), 龍洋 宣 (S.47), 北浦和憲 (S.51), 西下 充 (S.51), 小野寺誠志 (S.56), 井上 明 (S.57), 鈴木(林) 攝子 (S.59), 鈴木忠明 (S.59), 宇治原里志 (H.2), 長田克久 (H.6), 中村宙正 (H.12), 浅野賢太郎 (H.13), 吉田松雄 (H.16修士), 小林航也 (H.30), 金川聖也 (H.30), 伊藤千尋 (R.3), 山口竣太郎 (R.5), 金田侑士 (R.6), 小松祐雅 (R.7), Harrod Emily (在修士), 山上豪太 (在), 井上 航 (在)

経済学部にも 100万円 横山和子 (S.53)

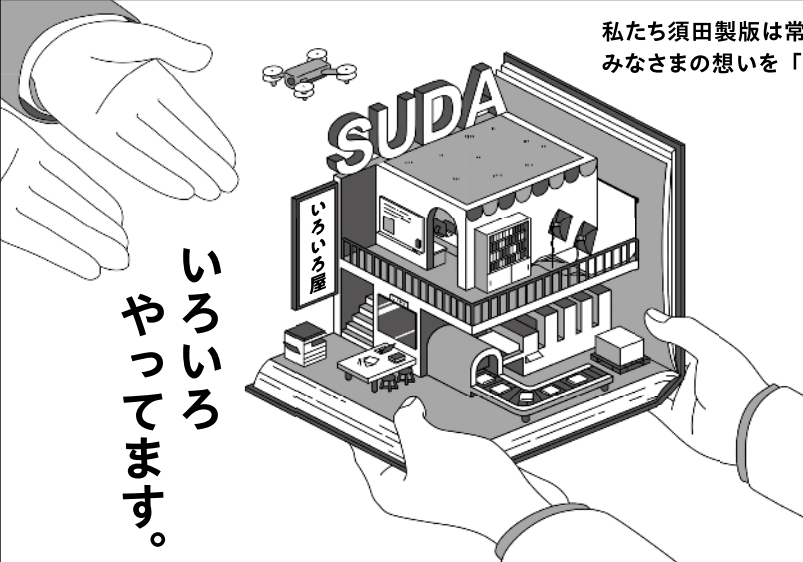
皆様から頂いた協賛金(学生支援金)の用途

- A. 卒論表彰
- B. 卒業祝賀会経費
- C. 北海道の経済を活性化させるための地域経済活性プラン コンテスト
- D. 出前講義(交通費のみ)
- E. 園信太郎賞
- F. その他

皆様の熱い協力とご支援が必要です。何とぞよろしくお願いいたします。

	項目	金額(円)	備考
収入の部	前期繰越金	15,453,602	
	会費収入	2,274,000	年会費, 終身会費
	協賛金収入	549,495	
	広告収入	326,000	会報40号
	総会収入	0	
	その他収入	9,769	
	計	18,612,866	
支出の部	事務局人件費	993,900	
	総会費用	0	
	会報作成費	359,700	会報40号
	助成金	28,640	優秀論文賞
	協賛金からの支払い	951,423	出前授業, 地域活性プラン・園信太郎賞表彰, 額
	通信費	670,316	発送代
	消耗品費	4,192	プリント関連
	印刷費	0	
	旅費	0	
	雑費	1,774,558	学位記ホルダー購入など
	支払手数料	52,222	振込手数料負担分
	計	4,834,951	
	収支差額	13,777,915	次期繰越金に充当

決算は7月30日付けで小泉修一監事, 金盛直茂監事により決算報告書が正確かつ適正に処理されたことを認める「監査報告書」を受領しております。




いろいろ
やっています。

私たち須田製版は常に変化し続けるニーズに対応する確かな技術と提案でみなさまの想いを「つなぐ」お手伝いをいたします。


TOTAL PRINTING
株式会社 須田製版

札幌本社 札幌市西区二十四軒2条6丁目1番8号
TEL 011-621-1000 FAX 011-621-1500
旭川支社・釧路支社・苫小牧支社・東京支社・滝川営業所・北見営業所
<https://www.suda.co.jp>
【グループ会社】 有限会社 **エゴナル** 営業 中央 札幌


オンライン
ショップ



ECサイト



NORTH PAPER



Instagram

会費のお願い

年会費 3,000円
終身会費 30,000円

振込方法は郵便局、コンビニ、スマートフォンにて同封の
「払込取扱票」にてお願いいたします。

なお、協賛金（学生支援）は郵便局のみとなりますので
ご注意ください。

同窓会活動は会員からの会費収入によって成り立っております。在学生在同窓会に迎えたことで財政的には一時的には余裕のある状況となりましたが、トータルでみるとまだまだ厳しいと言わざるを得ません。どうかご理解をいただき年会費（3,000円）の継続入金または終身会費の納入をお願い申し上げます。

協賛金は一口10,000円とし、その用途は原則全額を在在学生への支援に充てます。従来から行っている卒業を祝う会や優秀論文への寄付増額にとどまらず、ゼミ研究・就職活動の支援に使用します。

「学生支援の新たな取り組み」を経済学部らしい企画のもと、スピード感を持って具現したいと考えております。

なお、協賛金を納めていただいた方のご芳名を同窓会報に記させていただきます。

また、終身会費納入者以外で直近5年間一度も年会費（3,000円）を納めていただけない会員に対しては、会報の送付は行いません。

どうかご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

編集後記

- 今回も無事同窓会報41号をお届けすることができました。
今年の夏は全国的に猛暑が続いていることと思います。西日本や日本海側の地方では水不足も懸念されています。野菜や家畜の育成も心配です。ここ札幌も連日猛暑が続いており、先日も北見で40度近く。札幌でも36度近い最高気温を記録しました。経済学部棟の西南の部屋一帯のクーラーが故障し、一ヶ月以上も灼熱地獄！が続きました。会報におかしなところがあればそれは暑さで少しぼけぼけになってしまった結果！？かもしれません。昔は大学にクーラーがないのは当たり前でしたが、今や熱帯化でクーラーのない暮らしはここ札幌でも考えづらいところです。無事月末にクーラーは回復しましたが、札幌の夏もあとわずかだと思うと、非常に損をした心持ちです…。
- 事務局も5年目となりましたが、相変わらずこの編集後記を書く頃はばたばたしています（前述の暑さもあり）。同窓会室は月火水金の午後オープンしておりますので、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。同窓会報の原稿も広告も随時募集しておりますので、お寄せください。（原稿の持込大歓迎です）
- 3年前から始まった学生支援「出前授業」と「地域経済活性化プランコンテスト」も順調に年を重ねながらも、たくさんの同窓生、学生にご協力、ご参加をいただきました。これからもみなさまのご支援が必要です。何とぞご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。また昨年からは名誉教授の園信太郎先生よりいただいたご寄付を元に「園信太郎賞」が創設され、統計検定に合格された学生を表彰しております。難しい検定ですが昨年は5名の受賞者ができました！
- 横山和子さん（S.53卒）が学部へ直接寄付をされ、その資金を元に、学生の海外留学を支援する「グローバル・チャレンジ賞（横山和子賞）」が今年新設され、会報にも詳細を掲載しております。
是非みなさまこの会報に同送しております、「寄附のお願い」をご一読いただき、国立大学の窮状を乗り越えるご寄付を経済学部・経済学院にお願いできたらと思います。
- 今年のホームカミングデーの文系4部局合同シンポジウムは文学部が当番校です。たくさんみなさまのご参加をお待ちしております。昨年に引き続きメーリングリストをこのホームカミングデーのご案内として出しました。メールアドレスを登録されていない方は、会費の振り込み用紙に記入していただいてもけっこうです。何とぞ登録をお願いします。事務局に直接お知らせいただいてもけっこうです。
- 現在の同窓会は卒業した同窓生12,165名（亡くなった方を抜きました）、学部同窓生780名、院生同窓生238名という構成になっています。

2025/7/29 記



苫小牧市にある
いすゞエンジン製造北海道(株)には、
北海道大学経済学部を卒業された
皆さんの活躍できるフィールドがあります。

U/I/Jターン歓迎!

弊社は1984年に苫小牧に設立（当社の前身）以来、いすゞグループの中の、自動車用エンジン部品、および、トランスミッション関連部品の生産拠点として、「運ぶ」を支えています。

いすゞエンジン製造北海道株式会社

〒059-1362 北海道苫小牧市柏原1番地4
(代表) TEL 0144-55-1221
<http://www.iemh.isuzu.co.jp>